

弱アルカリ性酵素洗剤による 浸漬洗浄の質改善策の検討

社会福祉法人 三井記念病院
山本真由美



【はじめに】



【方 法】

浸漬洗淨効果の比較

1. 使用洗淨剤

- ・ 弱アルカリ性酵素洗淨剤
(アムテック社製 トップザイム SA-500)
- ・ 現在使用している酵素洗淨剤 (B社)

2. 被洗淨物

1) 洗淨評価用 インジケーター 3社5種

2) 実使用器材 5種類

3) 疑似汚染物質を塗布した止血鉗子

【医療現場における滅菌保証の

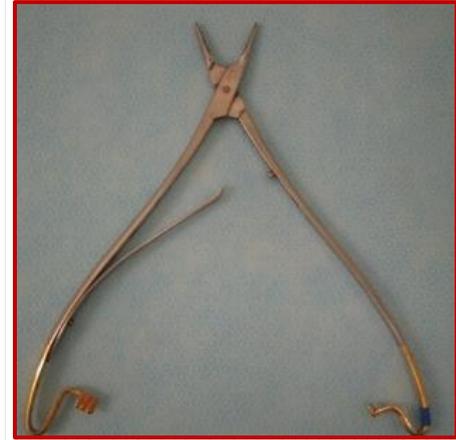
ガイドライン2010】 準拠

実使用器械

①ヘガール持針器



②マッシュユウ持針器



③ セッシ



④吸引嘴管 (2種)

a. 細

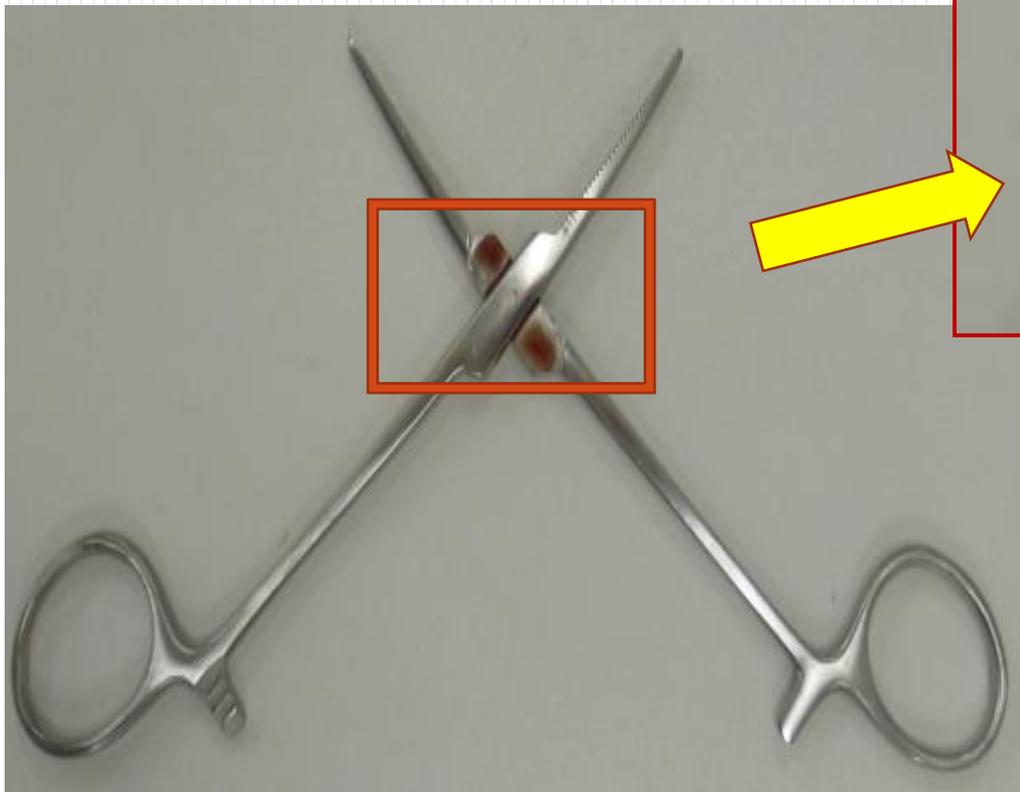


b. 太



疑似汚染物質を塗布した鉗子

【医療現場における滅菌保証の
ガイドライン2010】 準拠

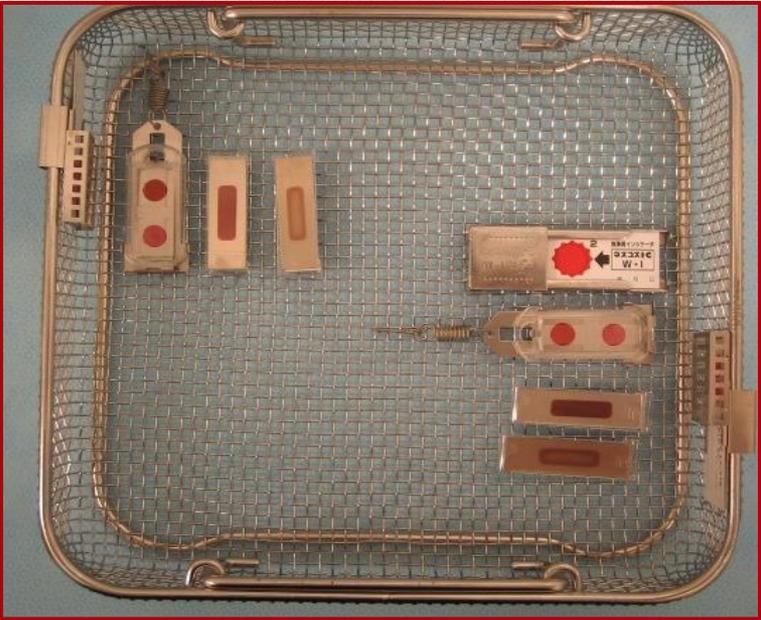
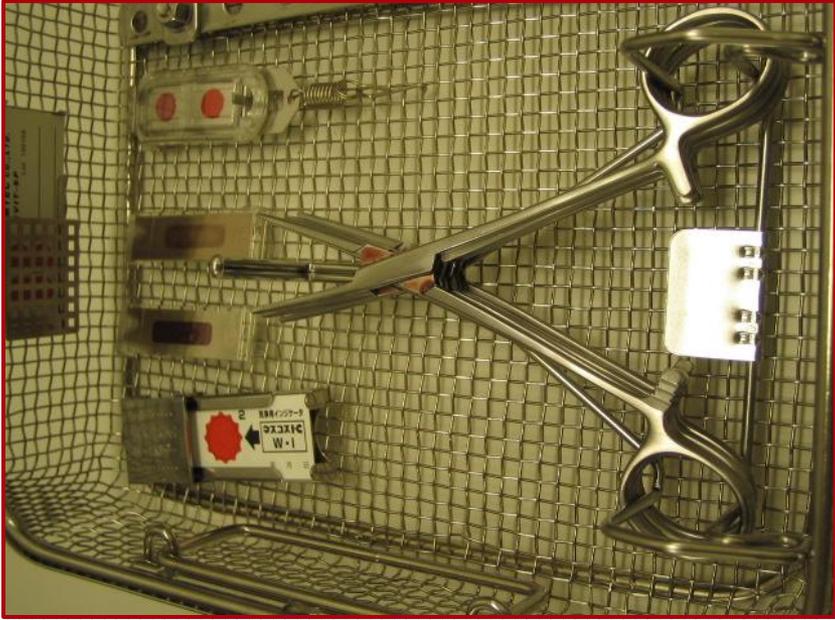


3. 浸漬方法

	1回目	2回目
浸漬時間	10分	20分
温度	40℃	
水流	なし	あり
洗浄剤濃度	0.8%	

4. 評価方法

- 1) 洗浄用インジケータの目視による
ソイル除去度判定
- 2) 浸漬洗浄後の残留たんぱく質量測定

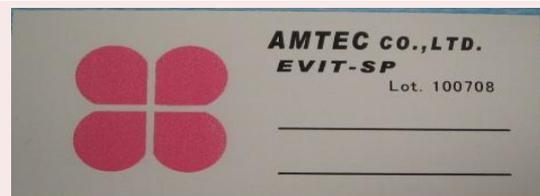
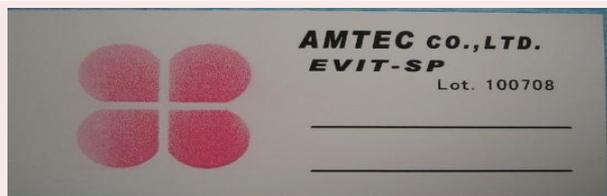
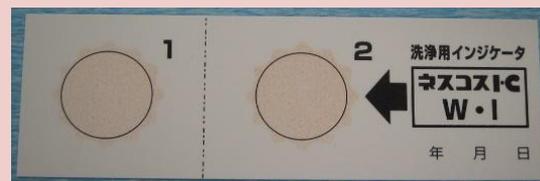
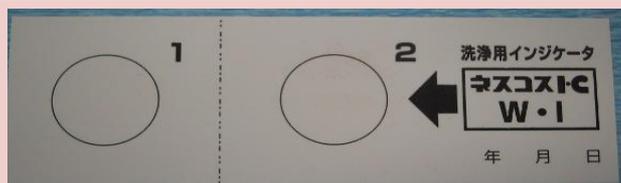


【結果】

1. 洗浄評価用インジケータ

トップザイムSA-500

B社酵素洗浄剤



2. 実使用器材残留たんぱく質量(μg)

		トップザイムSA-500	B社酵素洗浄剤
1) 持針器 ヘガールタイプ	1回目	20	63
	2回目	10以下	33
2) 持針器 マッシュウタイプ	1回目	24	18
	2回目	37	67
3) セッシ	1回目	22	10以下
	2回目	10以下	13
4) a 吸引嘴管	1回目	10以下	10以下
	2回目	10以下	10以下
4) b 吸引嘴管	1回目	19	87
	2回目	10以下	16

3. 疑似汚染物質を塗布した鉗子 残留たんぱく質量 (μg)

器材名		トップザイムSA-500	B社酵素洗浄剤
器材 1	1回目	1 5 5 7	1 0 2 0
	2回目	1 0 以下	2 6 3
器材 2	1回目	9 7 7	1 3 7 0
	2回目	1 2 2	6 9 3
器材 3	1回目	1 9 4 2	1 9 2 9
	2回目	2 5	9 1 5
器材 4	1回目	6 9 0	1 0 8 3
	2回目	1 4	1 1 1 5
器材 5	1回目	9 3 0	1 9 5 0
	2回目	1 0	6 1 8

【考察】

1. 洗浄評価用インジケータ－5種類中4種類で差が見られた。
2. 残留たんぱく質量では、吸引嘴管で差が見られ、全体的に弱アルカリ性酵素洗浄剤の方が少なかった。
3. 24時間浸漬を行ったが、弱アルカリ性酵素洗浄剤による器材の腐食等の変化はみられなかった。

【結語】

今回使用した弱アルカリ性酵素洗剤は、洗淨の質改善を図るために、浸漬洗淨での有効な洗淨剤であると考えられる。

